



2009年3月9日
スターウェイ株式会社
東京丸善工業株式会社

スターウェイの環境対応型梱包箱が 東京丸善工業で採用 ～ 資源投入量 5.31t、CO₂ 5.17t 削減 ～

スターウェイ株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:竹本直文、以下 スターウェイ)が開発した環境対応型梱包箱「イースターパック®」を、東京丸善工業株式会社(本社:千葉県佐倉市、代表取締役社長:桐田良平、以下 東京丸善工業)が採用しました。電気接点業界では初の採用となります。本社工場、国内出荷分の約45%をワンウェイの段ボールから、「イースターパック®」に切替えます。

今回の採用で東京丸善工業では2013年までの5年間で新規資源投入量を5.31t、CO₂を5.17t削減する予定(※スターウェイ社計算値)です。今後2年を目標に各顧客の承認を得た上で国内出荷分100%の切替を目指します。

《イースターパック》

スターウェイでは、特殊ウレタンフィルムのクッションで製品を固定するイースターパックを用いて循環型物流を提案し、作業の効率化と輸送品質の向上を実現させます。また、梱包箱を管理し循環させることで、梱包資材の廃棄量が減り、環境対策の施策として非常に有効です。環境効果と経済効果を実現する新しいサービスとして環境に配慮する各企業による採用が進んでおります。

《東京丸善工業》

東京丸善工業は創業1948年の電気接点総合メーカーです。電気接点材料からリベット接点、プレスかしめ加工までお客様の幅広いニーズにお答えします。明日の未来をサポートする技術、東京丸善の技術は未来を見つめています。

[イースターパック®について]

古紙を活用した板紙と特殊フィルムの構成により環境対策とコストダウンの両立を実現した梱包箱。従来の段ボールと比較し、板紙密度が1.0以上、剥離強度および剛度が5倍。撥水性、耐水性にも優れ、約100回の使用が可能(内容物、使用方法によって異なる)。

最終的に使用不能となったイースターパックはスターウェイが引き取り、再び素材へリサイクルするため、環境負荷も軽減されるとともに企業内での廃棄処分および処理費用も不要となる。

電気スイッチ用接点部品搬送用イースターパック



[お問い合わせ先]

- ◆ スターウェイ: 管理部 総務人事課 金子 (kaneko@starway.co.jp)
電話番号: 03-5408-1311
ホームページ: <http://www.starway.co.jp/>

- ◆ 東京丸善工業: 営業部 大江 満雄 (m.ohe@tokyo-maruzen.co.jp)
電話番号: 043-485-8141
ホームページ: <http://www.tokyo-maruzen.co.jp>

[スターウェイ社概要]

住所 : 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-18-13 高桑ビル 7 階
事業内容 : 1. イースターパックの開発、製造及び販売
2. イースターパックのリサイクル及びリース
3. 環境デリバリーパックの開発、販売
4. PC のコンフィグレーション・ネットワークセットアップサービス
5. PC の受入検査・修理サービス
設立 : 1999 年 12 月 24 日
資本金 : 4 億 3,080 万円
代表取締役社長 : 竹本 直文

スターウェイは、物流分野における地球温暖化対策を効果的に実現するために、「グリーン物流パートナーシップ会議」に参加しており、単独で環境対応に取り組むだけではなく他事業者と互いに知恵を出し合い、連携・協働する(パートナーシップ)事により、社会の一員として地球環境保護の責任を果たしていくことを目標としています。

(<http://www.greenpartnership.jp>)

[東京丸善工業社概要]

住所 : 〒285-0813 千葉県佐倉市石川 591-11
事業内容 : 1. 電気接点材料の製造・販売
2. リベット接点の製造・販売
3. 接点組付けプレス加工
創業 : 1948 年 3 月
設立 : 2002 年 10 月(改組)
資本金 : 2,000 万円
代表取締役社長 : 桐田 良平